

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 4 月 21 日

所属	商経学部	職名	教授	氏 名	宮田 大輔
研究課題	離散アルゴリズムの応用的研究				
研究キーワード	n-king problem, 数え上げ	当年度計画に対する達成度		3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した	
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	該当なし		該当なし	該当なし
1. 研究成果の概要 日本の伝統的ボードゲームである将棋に関して、互いに効きのない駒の配置の数え上げに関する研究を行った。2023 年度はトラス上の $N \times N$ の盤上（盤面は上辺と下辺および左辺と右辺を繋げ合わせたような盤面）に N 個の竜王を置く配置の個数（解の個数）に関する研究を行い、対称性を考慮しない解の個数を数え上げる公式を得た。この結果は、2022 年度の結果と併せて、論文として投稿準備中である。 2. 著書・論文・学会発表等 （できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載） 【論文（査読あり）】 なし 【著書・論文（査読なし）】 なし 【学会発表等】 なし 3. 主な経費 デスクトップ PC および研究に必要な書籍の購入に使用した。 4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等） 特になし (本文は 2 ページ以内にまとめること)					